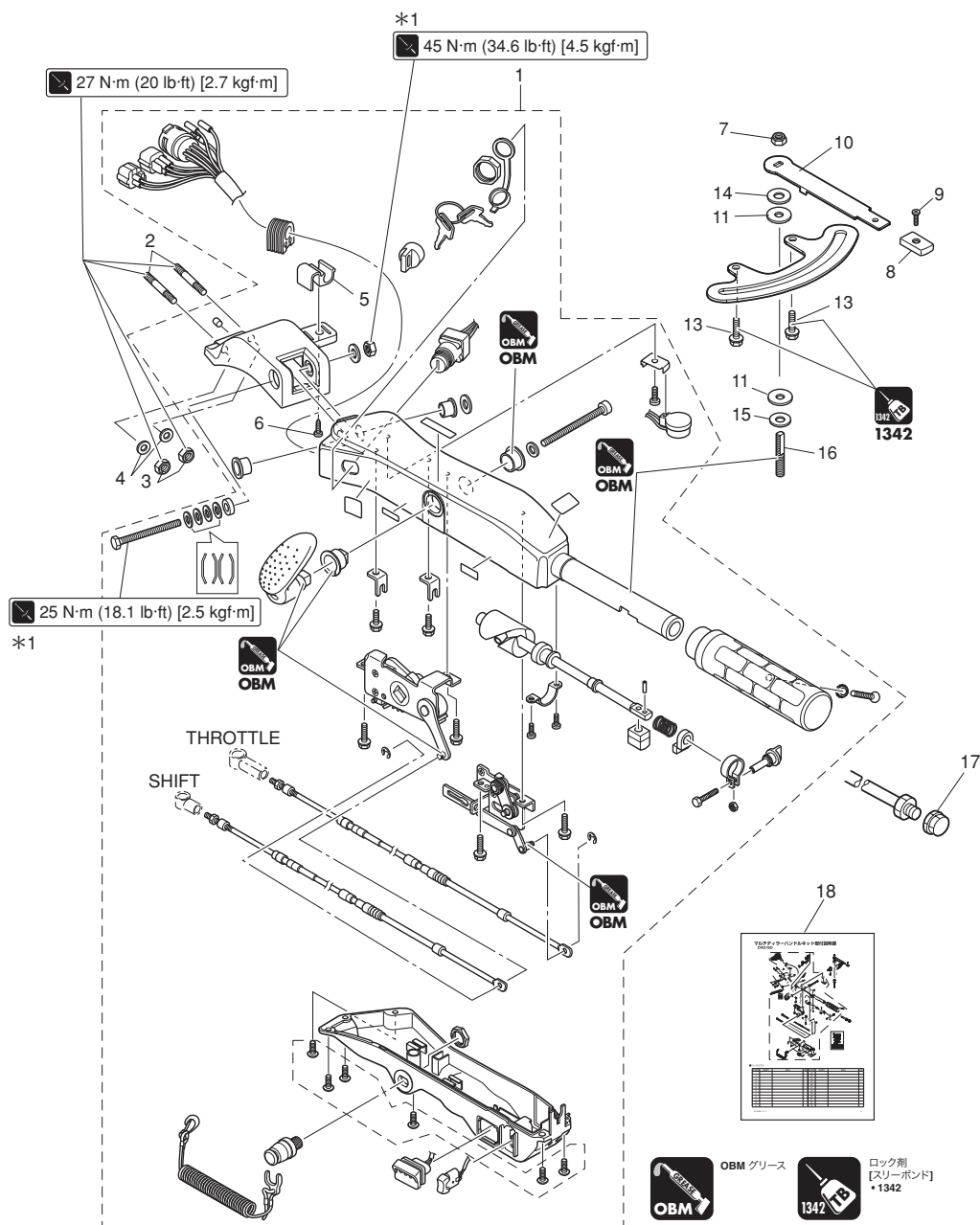


マルチティラーハンドルキット取付説明書

F40/50



※1 以下の順番に締めてください。

① ボルトを規定トルクで締めてください。

② ナットを規定トルクで締めてください。ナットを締め付ける時にボルトが回らないように固定してください。

■パーツリスト

見出番号	部品番号	部品名	個数	見出番号	部品番号	部品名	個数
	3KYQ63000-1	ティラーハンドルキット	1 セット	10	3KY-62441-0	フリクションレバー	1
1	—	ティラーハンドルアッシ	1	11	3GF-62449-0	ディスク	2
2	9153E3-1040	スタッド	2	12	3KY-62447-0	プレート	1
3	930403-1000	ナイロンナット	2	13	3V1-60108-0	プレコートボルト	2
4	9401E3-1000	ワッシャ	2	14	3B7-63730-0	ワッシャ	1
5	3GF-62004-0	コードホルダ	1	15	3R3-62443-0	ワッシャ	1
6	3T5-06437-0	タッピングスクリュ	1	16	3GF-62445-0	ボルト (スタッド)	1
7	3V5-62442-0	ナイロンナット	1	17	346-62127-0	キャップナット	2
8	3AC-63012-0	グリッパ	1	18	—	ティラーハンドルキットマニュアル	1
9	346-66334-0	ストッパ	1				

3KY-63300-1

はじめに

このマニュアルは F40/50 のマルチティラーハンドルの取付け方法が記載されております。

取付けの際は本書をよく読み、内容を理解したうえで正しく作業してください。

尚、取付け作業は必ず販売店様が行ってください。

安全上のご注意

本書には、特にご留意していただきたい取扱い事項を下記の表示で記載しています。これらは安全の為に重要ですので、必ず読んで遵守ください。

⚠ 危険

回避しないと死亡または重傷につながる差し迫った重大な事故を、未然に防ぐための事項を示しております。

⚠ 警告

回避しないと死亡または重傷につながる可能性がある事故を、未然に防ぐための事項を示しております。

⚠ 注意

回避しないと軽傷または部品や製品の損傷につながる可能性がある事故を、未然に防ぐための事項を示しております。



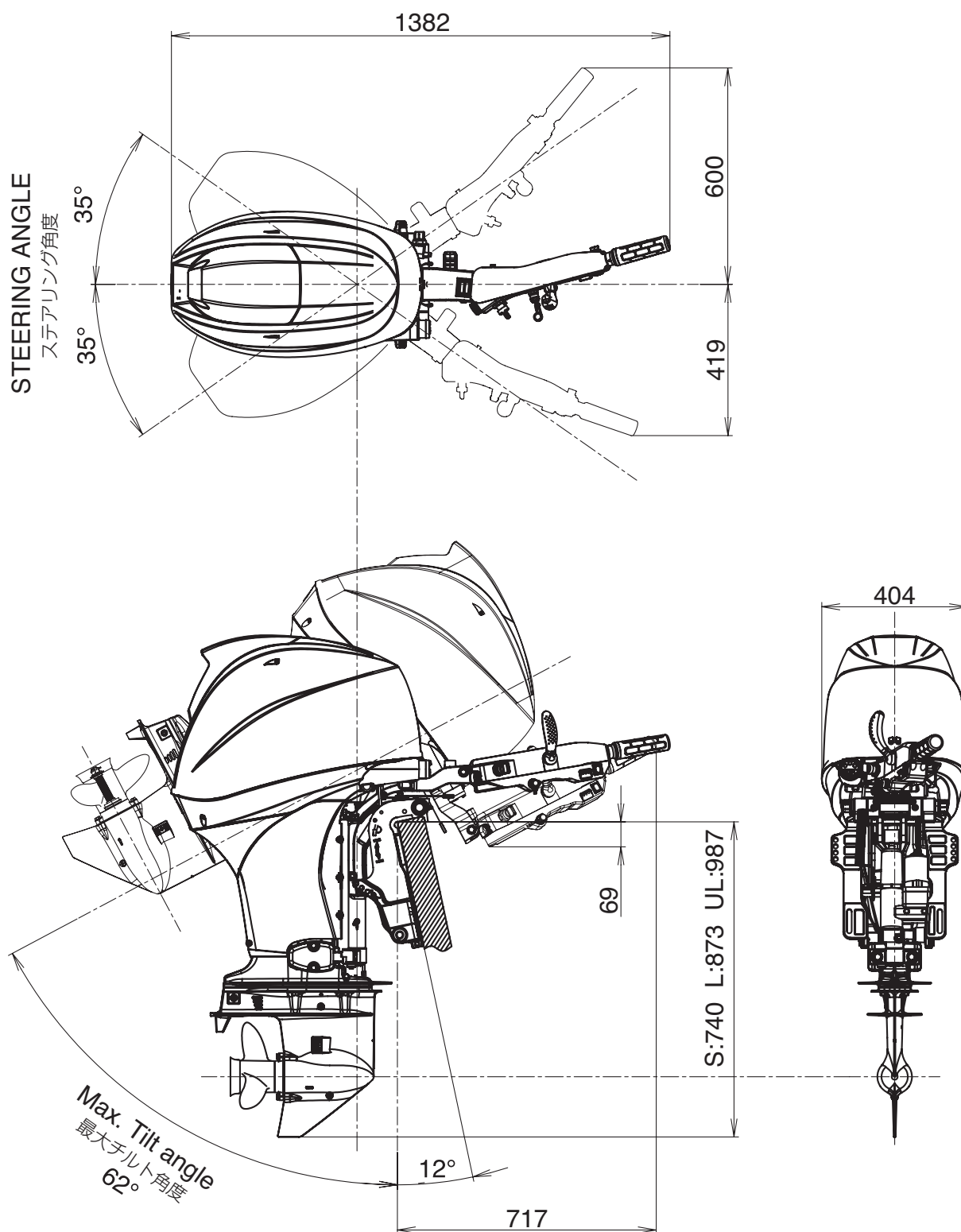
重要な情報をワンポイントアドバイス。

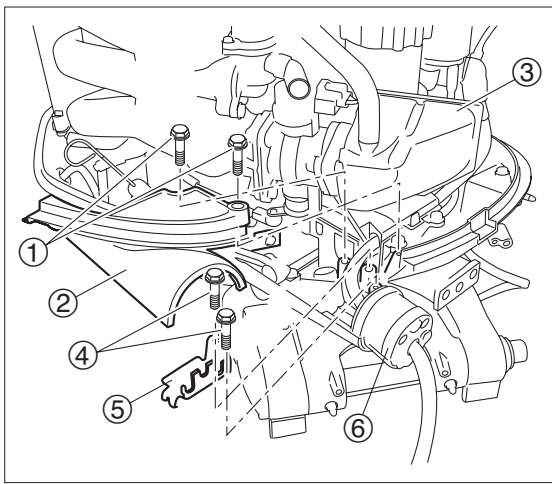
目次

同梱部品リスト.....	1
フルチルトアップ・ステアリング時の寸法.....	3
事前準備.....	4
マルチティラーハンドルの取付け.....	4
シフト・スロットルケーブルの調整.....	6
フリクションレバーの取付け.....	8
フリクションレバーの調整・操作方法.....	8
始動点検.....	9
配線図.....	10

フルチルトアップ・ステアリング時の寸法

マルチティラーハンドルを取付ける前に、各部が船体と接触しないことを確認して下さい。
もし接触する場合は、取付けないで下さい。





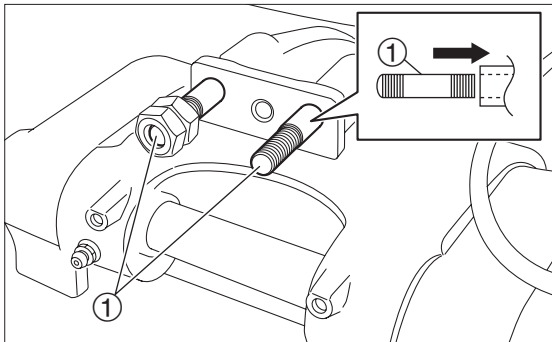
事前準備

1. ボルト①を取外し、リモコンケーブルステーカバー②を取外します。



エアサイレンサ③を取外すと、ボルト①が取り外しやすくなります。

2. ボルト④を取外し、ケーブルクリップ⑤を取外します。
3. グロメット⑥を取外します。



マルチティラーハンドルの取付け

1. スタッドボルトを取り付けます①。



ダブルナットにて取り付けます。



スタッドボルト

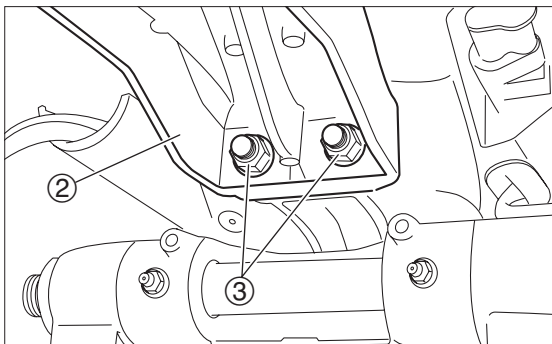
27 N · m (20 lb · ft) [2.7 kgf · m]

2. ワッシャ、ナイロンナット③でティラーハンドルアッシ②を取り付けます。

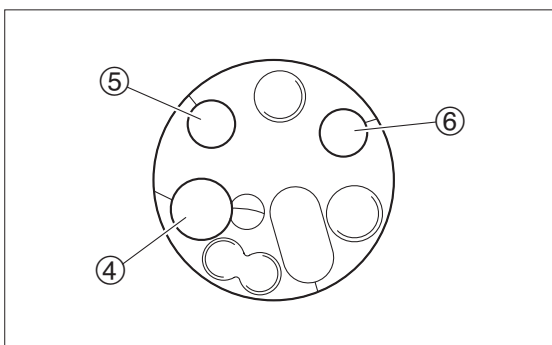


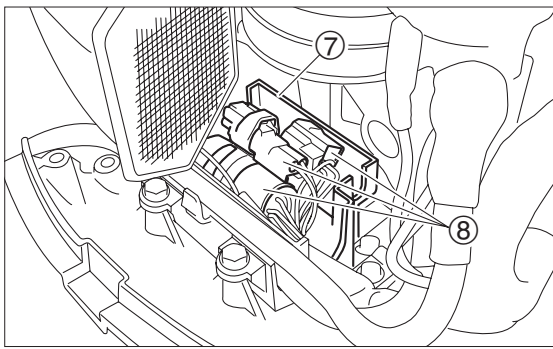
ナイロンナット

27 N · m (20 lb · ft) [2.7 kgf · m]

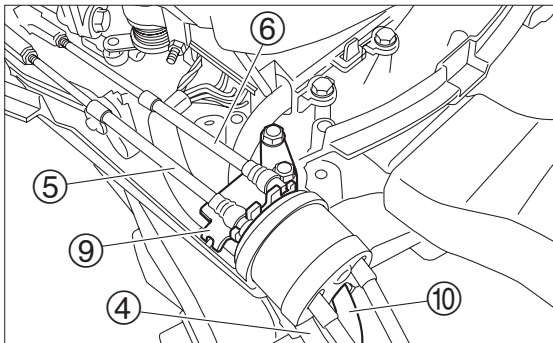


3. グロメットにティラーハンドルからくるメインハーネス④、シフトケーブル⑤、スロットルケーブル⑥を通します。

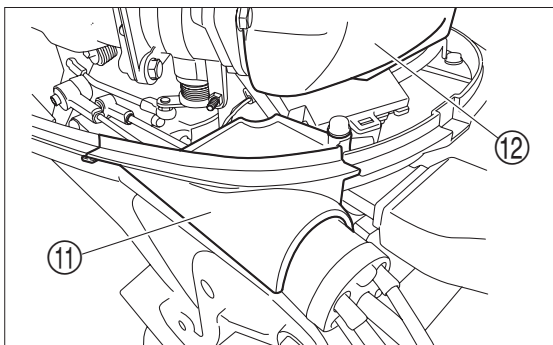




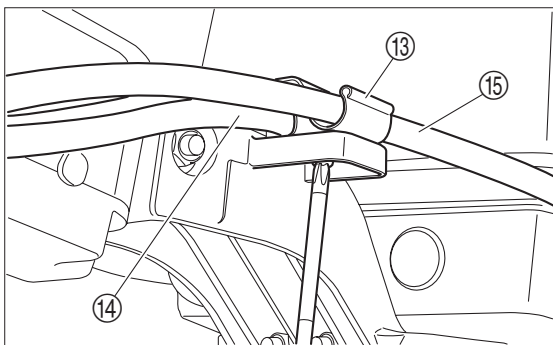
4. ケーブルターミナルホルダ⑦のカバーを開け、コネクタ（3組）⑧を接続し、カバーを閉めます。



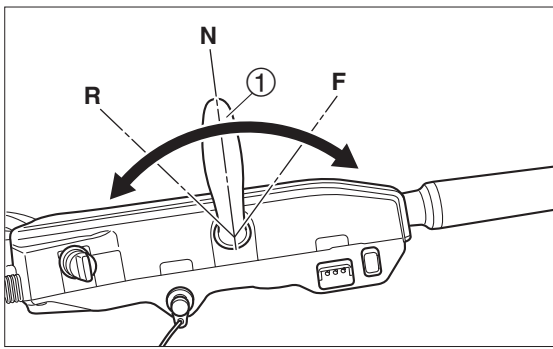
5. ケーブルクリップ⑨を取付け、バッテリーケーブル⑩、メインハーネス④を固定します。
グロメットを取り付け、シフトケーブル⑤、スロットルケーブル⑥をケーブルクリップに差し込みます。



6. リモコンケーブルステカバー⑪を取り付けた後、エアサイレンサ⑫を取り付けます。



7. マルチティラーハンドルにコードホルダー⑬を取付け、バッテリーコード⑭および、燃料ホース⑮を収納します。

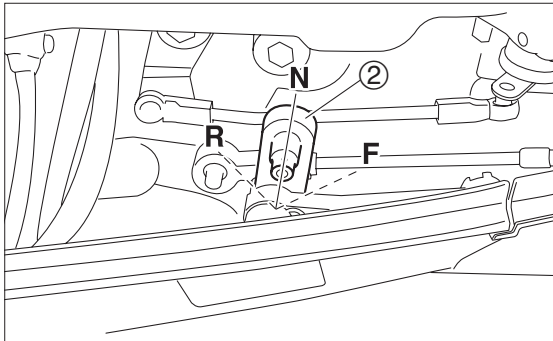


シフト・スロットルケーブルの調整

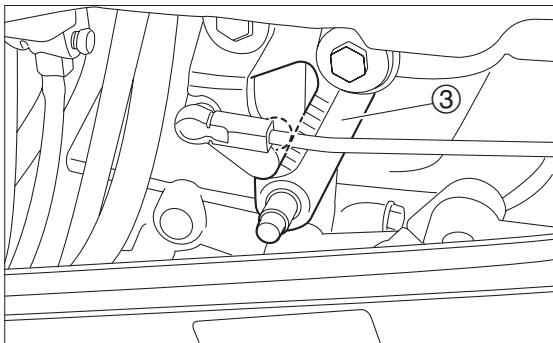
1. シフトレバー①を中立にします。

⚠ 注意

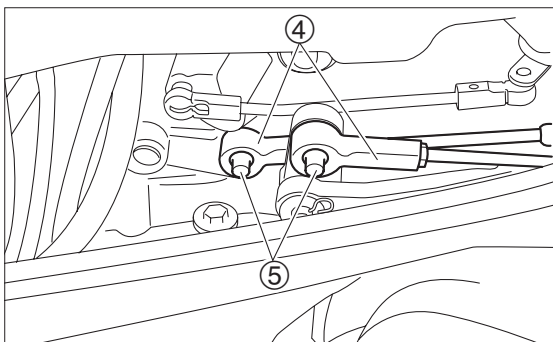
スロットルを全閉にしないとシフト操作ができません。無理に操作すると破損する恐れがあります。



2. シフトアーム②を前進 (F) - 中立 (N) - 後進 (R) に操作して位置を確認後、中立 (N) にします。



3. スロットルカム③を全閉にします。



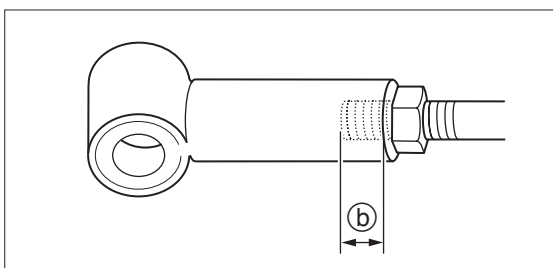
4. ケーブルジョイント④の穴がスロットルアームおよびシフトアームのピン⑤と一致する様に、ケーブルジョイントのネジ込量を調整します。

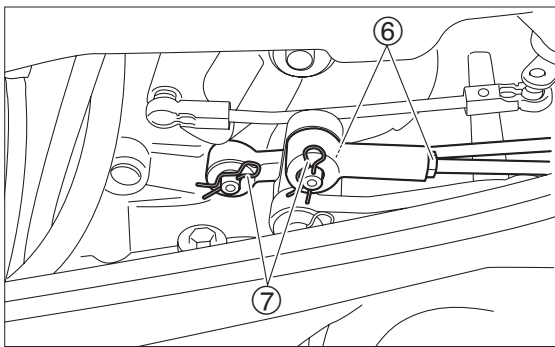
⚠ 警告

ケーブルジョイントは最低 12mm 以上⑥ねじ込む。

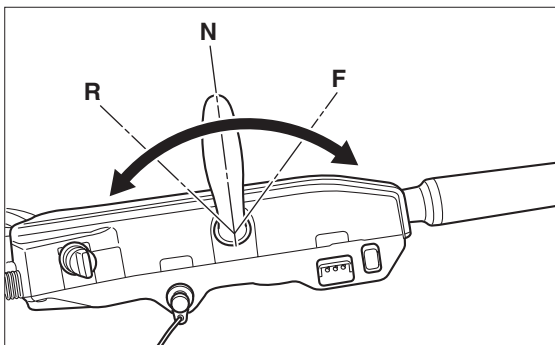


- ケーブルジョイントは船外機の梱包箱に同梱されています。
- ケーブルジョイントを調整するときは、ケーブルの遊びを押し込んだ状態で固定します。

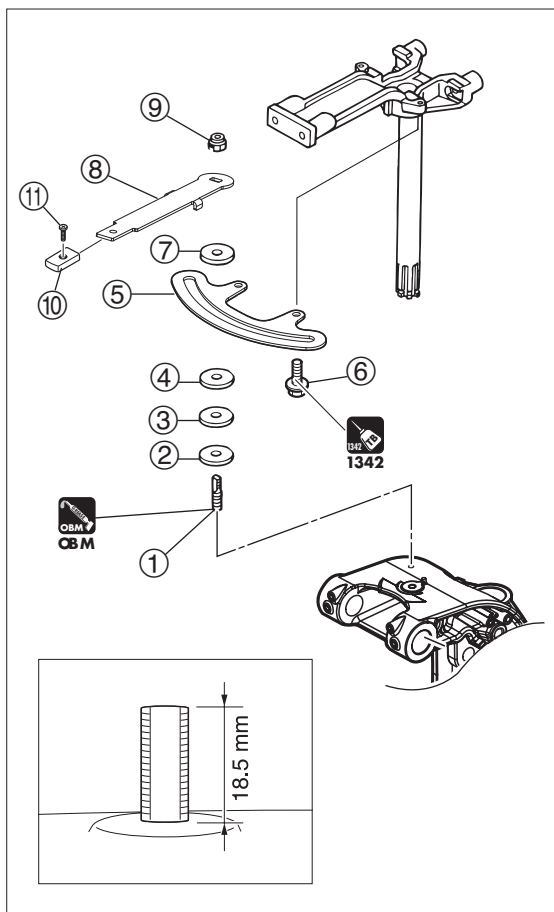




5. ナット⑥を締付けてから、ピンにセットしてワッシャと R
ピン⑦で固定します。



6. シフトレバーを操作し前進 (F) ー中立 (N) ー後進 (R) にな
るか確認します。



フリクションレバーの取付け

1. 以下の部品を取付けます。

・ボルト①

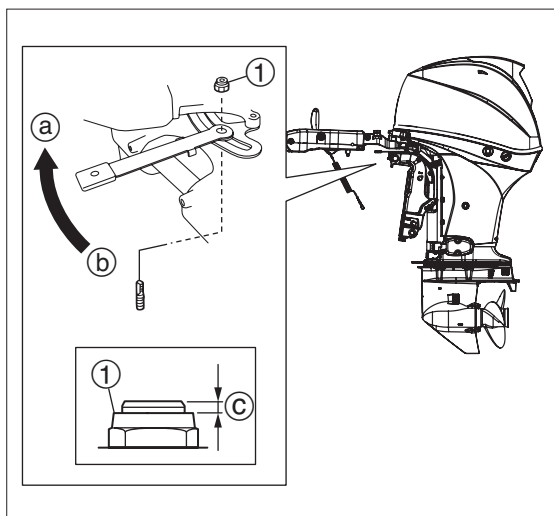


手で締めづらい場合、ボルトに M8 のダブルナットをかけて取付けます。

- ・ワッシャ (プラスチック) ②
- ・ワッシャ ③
- ・ディスク ④
- ・プレート ⑤
- ・ボルト×2 ⑥
- ・ディスク ⑦
- ・フリクションレバー ⑧
- ・ナイロンナット ⑨
- ・グリップ ⑩
- ・ストッパ ⑪



ワッシャ等にグリスを塗らないで下さい。



フリクションレバーの調整・操作方法

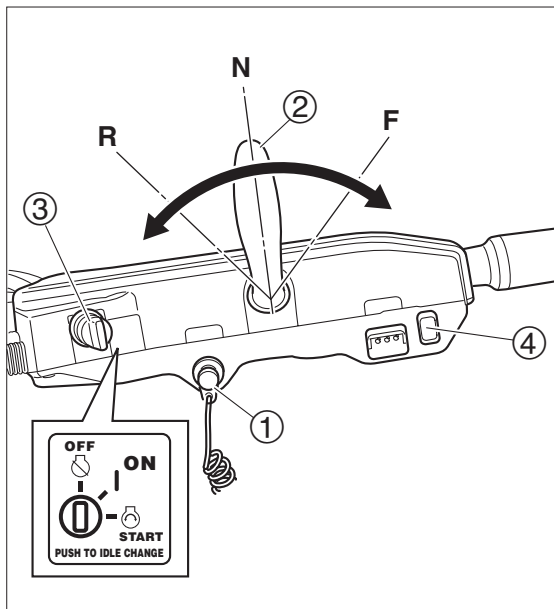
- ・フリクションレバーを締める方向⑧にし、ナット①を締め付け、最大のフリクションを調整します。
- ・フリクションレバーをゆるめる方向⑨にし、ステアリングがスムーズに作動することを確認します。

⚠ 警告

- ・フリクションレバーはステアリングを完全に固定するものではありません。船外機の操作中はハンドルから手を放さないで下さい。
- ・ステアリングハンドルの重さは船外機の操作に直接影響を与えます。事故に通じるおそれがありますので、アジャストナットを締めすぎないで下さい。



ナイロンナットの脱落を防ぐために、ボルトのネジ山がナイロンナット上端より 1 山◎見える位置まで締め込んでください。



始動点検

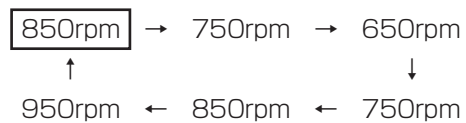
- ・ストップスイッチランヤード①を取付ける
- ・シフトレバー②を中立 (N) にする
- ・キー③を差し込み "OFF" の位置にしておく

⚠ 注意

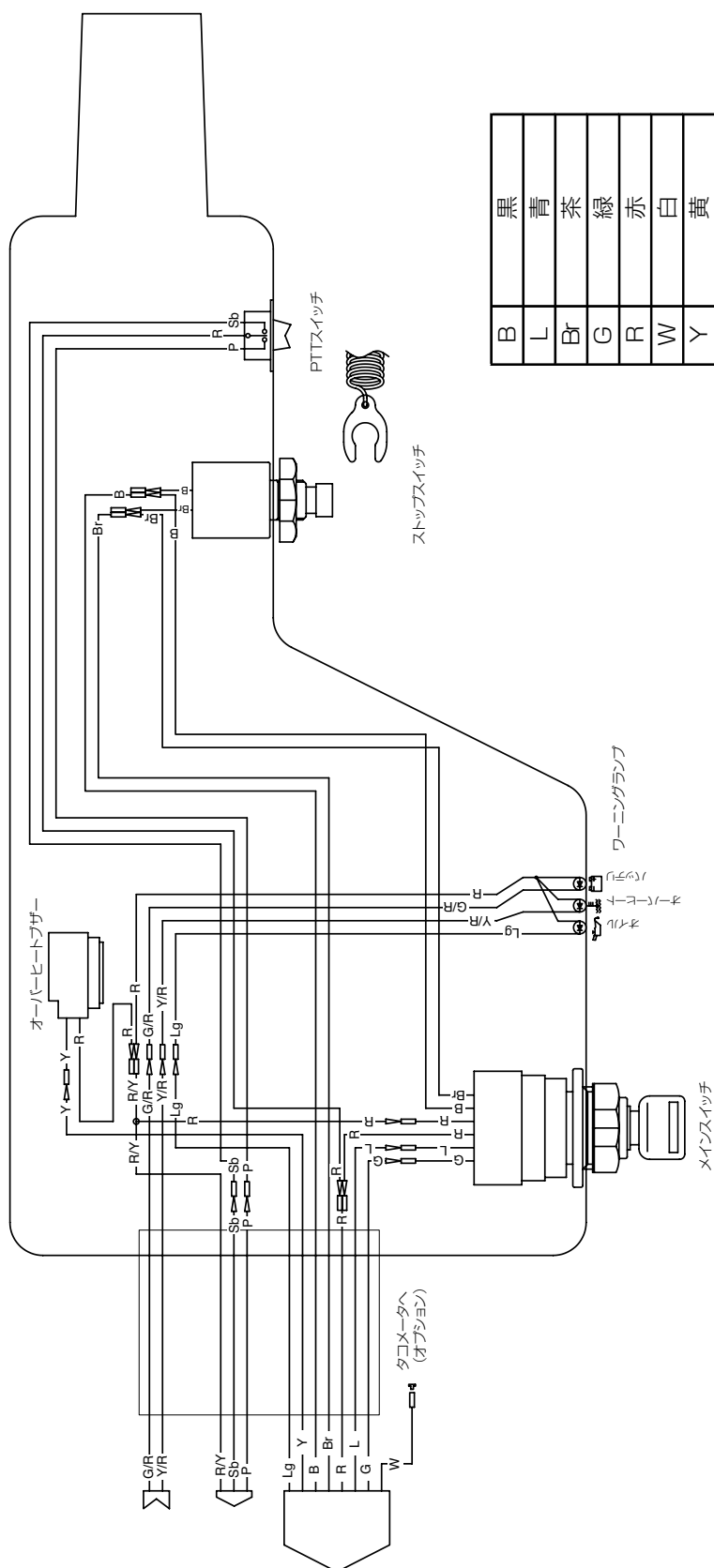
- 冷却水無しの運転は絶対に行わないで下さい。エンジンが損傷します。
- スロットルを全閉にしないとシフト操作ができません。無理に操作すると破損する恐れがあります。
- チルトアップ操作をする際に、トランサム・船体の形状によっては、マルチティラーハンドルが船体と接触する場合があります。

- ・ニュートラルスイッチ
中立 (N) 以外でエンジンが始動しないことを確認して下さい。
- ・ストップスイッチ
キーを "OFF" の位置にしてエンジンが停止するか、また、ストップスイッチランヤードを抜き停止するか確認してください。
- ・PTT スイッチ④
PTT スイッチの "UP" "DOWN" を押し、正常にチルトアップダウンが行えるか確認して下さい。
- ・エンジン回転
エンジンを始動させ、アイドリングで安定するか確認して下さい。
キーを押すことでアイドリング回転数が下図のように調整できます。
また、回転がスムーズに上がるか確認してください。

始動時



配線図



B	黒
L	青
Br	茶
G	緑
R	赤
W	白
Y	黄
P	ピンク
Lg	ライトグリーン
Sb	スカイブルー
R/Y	赤黄
G/R	緑赤
Y/R	黄赤

※斜線 (/) はストライプコード色

不許可複製

名称 トーハツ船外機リモートコントロールシステム 取付手順書
 発行 トーハツ株式会社
 発効日 2016年3月

連絡先

トーハツ株式会社

本社 東京都板橋区小豆沢 3-5-4
 〒174-0051 TEL03(3966)3116